

## e-kagaku サイエンスラボ 北原代表の活動の価値重要性

- 1.全世界で大注目されている宇宙産業を先駆的に実証している
- 2.多くの企業自治体と関係しているなか、いわき市旧永井中学校を活用している
- 3.全国から、超優秀な子供たち(小、中、高、大学生)を集めて、年間3回永井で合宿
- 4.最先端のITC技術などを駆使し、プログラミングも堪能で、教育価値も非常に大きい
- 5.将来的に、永井中学校に宇宙ベンチャーを設立予定である
- 6.宇宙産業立ち上げは、ロボットテストフィールド、国際教育機構等との連携に期待が持てる
- 7.産業化による若者流失防止、流入増加を見込める
- 8.上記が循環し、経済、教育、いわき市のPR等にも大きく寄与できる

\* 参考動画 <http://www.youtube.com/live/VXa5R1GGQ8w?feature=share>  
ジュニア衛星プロジェクトシンポジウム

### 【いわき経済同友会としての取り組み】

- ・2023年2月 北原代表をお呼びしての公開講演会開催  
e-kagakuの取り組みを多くの関係団体にも知ってもらう第一歩
- ・2023年4月1日 永井中に合宿にきていた子供たちの取り組みの視察会を企画  
いわき市産業振興部、教育委員会、商工会議所、JC、商工会、マスコミの方に声掛けし視察
- \* e-kagaku の取り組みを多くの市民に知ってもらい、いわき市の未来に大きく貢献できる  
可能性を持っていることを共有し、行政、経済界、教育界、連携し、支援協定を目指したい

### 【関係団体連携で実現を目指すもの】

いわき市、教育界、経済界など

1. e-kagakuが継続していわき市に訪れ、開発研究を行ってもらうための支援
2. 市内子供たちに先端のプログラミング、宇宙産業を学んでもらう機会創出
3. F-REI、ロボットテストフィールド、高等教育機関との連携を構築
4. 宇宙ベンチャー企業を設立し、雇用創出、人材育成、若者流出防止、福島県の目玉産業となることを目指す

2023.03.01

いわき経済同友会

北原達正（きたはら たつまさ）プロフィール

1958年 佐賀県生まれ

1982年 京都大学理学部卒、同大学院理学研究科後期博士課程にて宇宙物理学専攻

卒業後、京都大学総合人間学部、京都教育大学、順天堂医学部大学院、滋賀大学教育学部などで講師を歴任

文部科学省 21世紀社会教育活性化プラン 大津市科学教室推進委員会委員長など歴任

2002年 子どもの理科離れをなくす会 創設

NPO 法人ロボカップ日本委員会 ジュニア運営委員のち国内担当理事

彦根市サイエンスプロジェクト実行委員長

島根県産業人材育成・確保事業アドバイザー

2006年 株式会社サイエンス・ラボ設立

海陽学園など多くの学校の ICT 教育に貢献

明法中学・高等学校では 明法 GE（グローバル エンデバーズ）Chief Educational Director 就任し、その内容は NHK の「探求型教育シンポジウム」で紹介。

2013年 東京拠点開設

2014年 一般社団法人国際科学教育協会設立

いわき市で いわき科学教育推進協議会を設立。廃校を活用した ICT 人材育成のための基地作りをスタート。

2019年 世界初となる小中学生、高校生による自作観測機を使った成層圏探査実験を成功

2020年 一般社団法人 e-kagaku 国際科学教育協会に団体名変更

独自の人工衛星制作プロジェクトを始動。

三井物産 エアロスペース社と契約。

2021年 日本経済新聞にて取り上げられる。

日本経済新聞宇宙プロジェクトアンバサダーに就任

2022年 ・滋賀大学データサイエンス・AI イノベーション研究推進センターとデータサイエンス分野の向上を目的に連携協定を締結

・ JAXA と共同研究契約締結

・ MATLAB EXPO 2022 において e-kagaku の 2 グループがポスター発表部門で 1 位 2 位を独占

2024年 独自開発した小型人工衛星（e-kagaku 1）を 6 月アメリカより打ち上げ予定

滋賀県大津市在住